

第十講 文字テキスト

レポート講評

【前回のレポート課題】これぞ文化史、と思えるのは何か。

レポート課題の意図は諸君が文化史についてどのようなイメージを抱いているのかを、問うものであった。レポートの中には文化史の枠組みがはっきりしていないのに、「これぞ文化史」と思えるものが浮かんで来ないと報告しているものが幾つかあった。これは文化史が抱えている深刻な問題で、文化史は歴史学の中の特殊な一領域にすぎないのか、歴史学とは別の領域を形成しているのか、文化史の中に歴史学が含まれるのか、という文化史の根本的な立つ位置を問う良いレポートであった。

しかし、ほとんどのレポートは文化史を歴史学の一領域と捉えているか、歴史学とは全く違う独自の領域を形成していると考えている。文化史の領域として考古学や民俗学、民族学、美術や文学、思想や宗教、科学などを挙げ、文化史の特殊化を試みている。恐らく文化史について一般に持たれているイメージではあろう。出来事史である(?)政治史や経済史、社会史と差別化していくことで文化史の学問的個性を追求しようとするものである。

文化史を歴史学とは別の、独立した学問領域とするレポートは歴史の中では集合名詞としてしか語られることのない「民衆」や「下人」、「非人」などを対象にし、特別な政治的事件ではなく「日常」の「生活」のレベルで扱う学問だと考える。また「国」というレベルではなく「地域」というレベルで過去を扱うために、今日の歴史学が直面している「大きな物語」喪失という問題にも柔軟に対応できると主張している。その為に研究の方法論も歴史学とは異なりフィールドワークも取り入れ、モノに直接触れ、それらを通じて人々の意識や価値観を探っていくという独自の方法を取ると指摘する。その上で文化史と歴史学との接合点を模索し、表面的な歴史上の様々な諸現象の下に潜んでいる意識や価値観を文化史が明らかにしていくことで、より立体的、総合的な研究を進めていくことができる、とする。

「文化」を思想や芸術という分野に限定するのではなく、政治活動や経

済生産、地域の中の社会関係や宗教が及ぼす社会的価値観形成への影響、など人間のあらゆる活動（生産から消費に至る）の産物として捉えることによって、特定の領域に限定されない文化史の総合性を主張するレポートも見られた。その為に、文字テキストのみならず非文字テキスト、口頭伝承や遺跡、遺物、インタビューを含むフィールド調査など多様な研究手法を取ると指摘する。文化史から歴史学を排除するのではなく、歴史学も文化史の一領域なのだ、という強い主張がレポートに展開されていた。

諸君のレポートを読んで、諸君が「文化史とは何か？」という問題に正面から取り組んでいる姿勢を窺い知ることができた。具体的な文化史の領域となると芸術や宗教など伝統的な領域を挙げるレポートが多かったが、考古学や民俗学を挙げているレポートも多かったことが目についた。これは同志社大学の文化史学科の中に考古学の大きなパートが占めているということに目を向けた結果であろう。通常、考古学は史学科とは独立した学科を形成していることが多いが、同志社大学では文化史学科の重要なパートとして編成されていることの意味を考えた結果として導き出されたものだろう、と推測される。

【本日のポート課題】「文字テキストとは何か。文字テキストを扱う際に注意すべきことは何か。」

テキスト批判

必ずしも現存の文字テキストは完全ではない

1. テキストの欠損

印刷された刊本と手写本は異なる

多くは文献学者や碑文研究者による校訂を受ける

文字なのか傷なのかの判別がつかないことも

2. テキストの記述レベル

実体験に基づくのか伝聞に基づくのか

実体験：体験者が経験した局所的な知見

体験者の主観が記述に影響

- 伝 聞：間接的知見の問題
 - 真実の証明の欠如
 - 噂や脚色された作りごとの方が興味を引く
- 書き手の資質に左右される
 - 限られた知識
 - 洞察力の欠如
- オリジナルかセカンダリーか
 - テキストの来歴の確認の要
 - オリジナルとの距離＝信憑性の多寡
 - オリジナルか写本を通じてか
 - 写本を繰り返すことによる誤写の蓄積
 - 注が本文に入ってしまう危険性
 - 他のテキストの混入
- 常識の罫に気を付ける
 - 常識は判断基準になるが、同時に誤謬の原因ともなる
- 3. 語句の意味内容の変化
 - 同一語句であっても意味内容は時代や社会によって異なる
- 4. テキストの性格を見極める必要性
 - 事実を記述することを目的とする行政経済文書か
 - プロパガンダの可能性
 - 自己の正当化・競合者への意図的な過小評価
 - 選択された事実と無視される事実
 - 例：聖人伝（テクラ外伝）
 - 政治的文書・外交文書・回顧録・人物評伝などに多い